

## 井上さととし参院議員が報告 河江衆院候補も発言

愛知の党東三地区委員会は1月28日、豊橋市内でTPP参加反対の決起集会を開き、160人が参加しました。井上さととし参院議員が報告、河江明美衆院比例東海ブロック候補も発言しました。

井上議員は国会論戦のなかで、TPP参加は東日本大震災復興を妨げ、日本の農林水

産業に大打撃を与える問題が明らかになったとのべ、「アメリカいいなりのTPP交渉への参加はすべきではない」と強調しました。

河江候補は各地のJAや漁協、森林組合などへの申し入れや懇談の様子を紹介し、「どこでも日本共産党の立場と一致でき、共同の輪が広がっている」と話しました。

地区委員会は集会に先立ち、JA、漁協、医師会などへ集会を案内しながら、懇談をおこなってきました。党主催の集会としては初めて、J

Aひまわり（豊川市）とJA蒲郡から協賛のメッセージが寄せられました。

農業者、医療関係者からの発言に続き、日恵野蒲郡市議は「地元製粉会社の会長や前市長もTPP反対」と紹介しました。

集会后、トラクターを先頭に「TPP断固反対」などと書かれたかかしやムシロ旗を掲げ、パレードしました。

集会は地元紙からも注目され、事前に紙面で紹介されたうえ、翌日は1面で報道されました。

# 党東三地区のTPP反対集会に160人 JAからメッセージ 地元紙も報道



## 消費税増税反対 97ヶ所で宣伝 岐阜

党岐阜県委員会は1月28・29日、全県で消費税増税反対のいっせい宣伝活動に取り組みました。県内97ヶ所で、地方議員を先頭にハンドマイクで訴えた

り、増税反対の署名やビラ配りに力を入れました。

岐阜市のスーパー前では松岡県委員長が、野田内閣の「社会保障と税の一体改革」を批判。「業者の人から消費税が10%になったら仕事が続けられないと悲痛な声が上がっている。大震災の被災者にも深刻な影響を及ぼす」と訴えました。



自転車をとめて訴えるを聞いていた女性は「消費税増税は生活にかか

## 民主でも自民でも消費税増税

全商連の国会内集会で佐々木議員があいさつ

1月27日、国会内で「改悪国税通則法対策・消費税闘争全国交流会」（全商連主催）が開かれ、300人の中小業者が参加しました。佐々木憲昭衆院議員は消費税増税について次のように話しました。

自民党の国会質問を聞いてみると、「消費税増税に反対」という立場からではありません。民主党は「マニフェスト」に違反しているから、消費税増税の資格がないという点にあります。そして、「自民党は消費税増税を含む税制抜本改革を断行することを堂々と掲げた」と言い、自民党こそ消費税増税の資格があるということです。

これに対して野田総理は「自政権の方針を引き継いだ」「自民党提案の法案通りやっている」、つまり、自民党と同じ政策だから賛成してほしいと繰り返すだけです。これでは、総選挙で民主党が勝っても自民党が勝っても、消費税増税の翼賛議会ができあがるだけです。いま、国民が求めているのは、「消費税増税をやめる政治」をつくることです。

わるものすべてが上がるからだめ」と話していました。

多治見市では、「増税は困る」と話しかけてきた人に、「しんぶん赤旗」の見本紙を

渡し、署名に協力してもらいました。

土岐市では家の庭で訴えに耳を傾ける人もいました。